

平成16年4月8日

日本学術振興会
プロセスシステム工学第143委員会
委員長 小野木 克明

プロセスシステム工学第143委員会
第147回委員会・平成16年度第1回研究会 開催通知
(143委員会ホームページ <http://jsps143.pse.nuce.nagoya-u.ac.jp/>)

1. 日時：2004年5月14日（金）13:00～15日（土）12:00
2. 場所：アクトシティ浜松コンgresセンター
(浜松市板屋町111-1/電話：053-451-1112/URL：<http://www.actcity.jp/>)
交通：JR浜松駅に直結
宿泊：オークラ アクトシティホテル浜松
(浜松市板屋町111-2/電話：053-459-0111/URL：<http://www.act-okura.co.jp/>)
3. 委員会：5月14日（金）13:00～13:10
4. 研究会： テーマ：「SCMの展開にPSEは貢献できるか」

研究会の目的

- ① SCM本来の企業間、企業内のChain Management主体の水平統合に着目
 - ② SCMを通してERP-MES-計装システムの垂直統合に着目
- の双方について、PSEの貢献の可能性、取り組むべき課題を議論し、方向を示す。また、
- ③ SCMを実効的に実現するための技術基盤、情報基盤に着目
- も議論の対象とする。
これらの議論を通して、産学の貢献しうるポイントを整理する。

<1日目> 5月14日（金）

第1部 講演による話題提供 (司会 前半：平尾 雅彦 幹事、後半：川村 継夫 幹事)

13:10～13:30 ①「SCMの狙い」

東洋エンジニアリング(株) 鈴木 剛 委員

<概要> SCMの現状を概観し、研究会の意図を説明する。

13:30～14:10 ②「SCORによるサプライチェーンのモデリングとシミュレーション」

名古屋工業大学 伊藤 利昭 委員

<概要> SCC (Supply Chain Council) の提唱する SCOR (Supply Chain Operation Reference Model) と簡単なシミュレーション事例を説明することにより、サプライチェーンを対象としたビジネスプロセスの設計に関する話題を提供する。

14:10～14:50 ③「企業間連携のボトルネック」

マニュジスティックス・ジャパン(株) 太田 尚 氏

<概要> 企業内連携の実例は多く見られるようになったが、多くの企業が川上・川下の企業との連携を望みながら、実践できていない。何がボトルネックになって実践/継続できないのか、現場の声を交えながら考察する。需要予測を含む計画系システムについて現状と展望を述べる。

14:50～15:20 ②、③へのコメント (1件10分 (コメント5分+討議5分))

(株)ジャパンエナジー (選任中)、三菱化学(株) (選任中)、住友化学工業(株) (向山 弘人 氏)

15:20～15:40 休憩

15:40～15:50 「事例紹介について」

オメガシミュレーション(株) 川村 継夫 委員

15:50～16:30 ④ S C M導入事例1 「医薬品製造業における S C M 業務改革と ERP・MES 導入事例」

第一製薬(株) 雄賀多 政昭 氏

<概要> ERP (SAP 社 R/3) の導入を機に、SCM(需給計画、購買、製造・品質管理、販売物流、原価管理)の抜本的な業務改革を実施した。第一製薬における S C M の課題、BPR の狙い、解決の方策等について事例を紹介する。

16:30～17:10 ⑤ S C M導入事例2 「田辺製薬での企業内 S C M構築事例」

田辺製薬(株) 文元 薫 氏

<概要> 基幹業務システム (R / 3) 導入の中で実現した企業内 S C M (出荷予測～物流計画～生産計画～日程計画～購買計画) システム構築および、同時実施した物流業務の 3 P L への外部委託について紹介する。

17:10～17:30 ④、⑤へのコメント (1件10分 (コメント5分+討議5分))

日産化学工業(株) (春成 孝 委員) 、横河電機(株) (選任中)

17:30～18:00 第2部グループディスカッション、食事・宿泊、翌日予定の説明

18:30～20:00 夕食/懇親会 (オークラアクトシティホテル浜松)

第2部 グループディスカッション

「S C Mの展開に P S Eはいかに貢献するか」という視点で下記の4テーマ別グループに分かれて議論する。

① 水平連携からの課題と方策1 物流統合、調達・生産・販売連携、企業間連携

② 水平連携からの課題と方策2 Product to Process、R & Dと生産の連携

③ 垂直連携からの課題と方策 ERP、MES、工程制御、運転管理

④ 技術基盤からの課題と方策 標準化、業界ネットワークインフラ、シミュレーション、予測、最適化技術

ディスカッションリーダー：①栗本 英和 委員、②加納 学 委員、③武田 和宏 委員、④北島 禎二 委員

20:00～22:00 グループディスカッション第1回目

<2日目> 5月15日 (土)

9:00～10:00 グループディスカッション第2回目

第3部 グループディスカッションの報告と総合討論

(司会 前半：小西 信彰 幹事、後半：平尾 雅彦 幹事)

10:00～11:00 各グループリーダーからの報告 各15分×4グループ

11:00～12:00 総合的な討論

第1日目事例講演者 (第一製薬(株)など)、学側委員 (渋野 哲郎 委員、青山 敦 委員)、フロアからの意見

担当幹事による集約

5. 申し込み方法

宿泊の予約を伴う場合には、4月30日(金)までにご回答下さい。また、宿泊予約を伴わない研究会・懇親会のみのご参加についても、4月30日(金)までにご回答下さい。なお、宿泊費、懇親会費として12,000円 (15日の朝食を含む) を当日申し受けます。懇親会費のみの場合は、4,000円申し受けます。また、初日は昼食をすませてご参加下さい。12時30分から受付を致します。